

平成19年度病害虫発生予報第2号(5月予報)

○トマト黄化葉巻病防除パンフレット配布中。当センターHPをご覧ください。
<お知らせ> ○北部駐在は農業研究センター名護支所内へ移転しました(裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

灰白色斑紋病 (すいか)

学名 : *Watermelon silver mottle virus* (WSMoV)



葉の病徴

矢印部が灰白色になっている



果実の病徴



体長0.9~1.4mm

媒介虫

ミナミキイロアザミウマ

生態と被害

茎葉が萎縮し、退緑して灰白色になり、その部分の生育が押さえられ、奇形となったり、糸状葉となる。果実には退緑斑点を生じ、激しい場合は果実全体の退緑や奇形となる。病原ウイルスはWSMoVで、ミナミキイロアザミウマによって伝搬され、汁液伝染するが、種子、土壌伝染はしない。すいか以外では、きゅうり、にがうり、とうがんなどで発病し、雑草でも発病が確認されている。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。